

第79回国民スポーツ大会競泳競技岡山県代表選手・監督の選考基準について

2025年4月1日

NPO 法人岡山県水泳連盟

1 国民スポーツ大会参加資格

- ・「国民スポーツ大会実施要項総則」に定められた、「参加資格」、「所属都道府県（岡山県）」、「選手の年齢基準」の全てを満たす者
- ・当該年度の（公財）日本水泳連盟競技者登録を完了している者

2 選考対象

- ・中国五県対抗水泳競技大会（競泳競技）岡山県予選会 兼 国民スポーツ大会一次予選会または岡山県選手権水泳競技大会（競泳競技）兼 国民スポーツ大会二次予選会にエントリー（エントリー及び申込金振込）している者の中より選考する。
- ・ふるさと登録届を、参加申込締切日までに提出している。（成年選手に限る）
- ・提出場所 NPO 法人岡山県水泳連盟 事務局 競泳委員長 和気利治あて
〒711-0921 倉敷市児島駅前 1-100 ナイカイ第一ビル7階
時間 9時00分～16時00分
方法 郵送もしくは持参場合は事務局員が外出している場合がありますので、事前連絡を入れてお越しく下さい。
- ・事務局休み 毎週金曜日・土曜日・日曜日・および祝日

3 選考期間及び選考（競技会）大会

期 間 : 2025年4月1日～2025年7月31日

対象競技会：上記期間内に開催される、長水路公式・公認競技会

中国五県対抗水泳競技大会岡山県予選会 兼 国民スポーツ大会一次予選会

中国高等学校選手権水泳競技大会岡山県予選会

中国五県対抗水泳競技大会

岡山県選手権水泳競技大会 兼 国民スポーツ大会二次予選会

中国高等学校選手権水泳競技大会

全国中学校選手権水泳競技大会岡山県予選会

（上記以外の加盟団体の競技会も選考対象とする。）

4 選考人数

国民スポーツ大会競泳競技実施要項で定められた監督2名、選手42名（男子選手24名以内、女子選手23名以内）計44名以内を選考する。

5 選考基準（個人種目）

【参加標準記録】

個人種目	50m 自由形	100m 自由形	400m 自由形	100m 背泳ぎ	100m 平泳ぎ	100m バタフライ	200m 個人メドレー
少年女子 B	27-48	59-27	女子共通	1-05-81	1-13-56	1-03-41	2-22-98
少年男子 B	24-83	53-79	4-09-99	1-00-31	1-05-70	57-27	2-09-96
個人種目	50m 自由形	100m 自由形	400m 自由形	200m 背泳ぎ	200m 平泳ぎ	200m バタフライ	400m 個人メドレー
少年女子 A	27-06	58-67	4-26-42	2-19-71	2-35-50	2-17-87	5-02-83
少年男子 A	24-21	52-90	4-03-53	2-07-94	2-19-28	2-04-57	4-33-82
個人種目	50m 自由形	100m 自由形	400m 自由形	100m 背泳ぎ	100m 平泳ぎ	100m バタフライ	200m 個人メドレー
成年女子	26-59	58-06	4-24-16	1-04-17	1-11-69	1-01-45	2-20-83
成年男子	23-42	51-48	4-00-43	56-91	1-02-47	54-27	2-04-37

※1/100 秒までを対象とし、各区分、距離及び種目の上位 1 名を選考する。

6 選考基準（リレー種目）

国民スポーツ大会一次予選会、二次予選会に出場した選手および「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例処置」の対象となる選手の中で、対象競技会の 4 名合計記録が岡山県参加標準記録を突破（同記録含む）している種目および選手を選考の対象とする。

（成年選手編成チームはその限りではない。）

【岡山県参加標準記録】

リレー種目	リレー	メドレーリレー
少年女子 B	3-56-18	4-18-80
少年男子 B	3-33-42	3-52-87
少年女子 A	3-53-83	4-16-95
少年男子 A	7-39-17	3-48-33
成年男子	*****	*****
成年女子	*****	*****

ただし、候補選手が（公財）日本水泳連盟の競技者資格規則に反する行為を行った場合は、NPO 法人岡山県水泳連盟特別委員会（以下、特別委員会）において、その権利を取り消すこととし、候補選手は成績順に繰り上げて選考する。

※総則 5 別記 4 に定める「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例処置」の対象と

なる選手については、2項のどちらかの競技会へ出場意思（希望種目をエントリーおよび申込金振込）を表明することにより、3項を経ずに優先的に選考することとする。

監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ 1、公認水泳コーチ 2、公認水泳コーチ 3、公認水泳コーチ 4、または公認水泳教師、公認水泳上級講師のいずれかの資格を有する者の中から選考する。

7 選考の方法

3項の期間終了後、速やかに特別委員会において選考を行い、選考基準を満たした監督・選手の中から総合的に判断し選考する。

8 予選会免除者

日本スポーツ協会が定める「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例処置」に該当する者

9 選考基準の周知

選考基準については、NPO 法人岡山県水泳連盟ホームページにて公表する。なお、自然災害等の不測の事態が生じ、選考期間内に予選会が開催不能となり、選考基準等に変更が生じた場合は、特別委員会において新たな選考基準等を策定し、本連盟ホームページを通じて関係者へ通知する。

10 選考結果

新聞紙上において行う。

11 代表選手・監督の決定

NPO 法人岡山県水泳連盟が選考した者の中から、公益財団法人岡山県スポーツ協会会長が、岡山県選手団としての誇りと自覚を持ち、社会的な規範を遵守できる者を代表として決定する。

12 質問対応窓口 競技力向上委員長 森 重樹

13 NPO 法人岡山県水泳連盟「競泳委員会」委員構成

委員長 和気利治

副委員長 長光幹太

委員 三宅俊行 野田直裕 藤本策也 松澤順平

14 NPO 法人岡山県水泳連盟「特別委員会」委員構成

会長 溝口 香

副会長 西川良和 長谷川博士

専務理事 片沼裕二

常務理事 森 重樹 杉本和弘 藤原勝馬

第79回国民スポーツ体育大会（OWS競技）岡山県代表選手・監督の選考基準について

2025年4月1日
NPO 法人岡山県水泳連盟

1 国民スポーツ大会参加資格

- ・「国民スポーツ大会実施要項総則」に定められた、「参加資格」、「岡山県所属となる条件」「選手の年齢基準」の全てを満たす者
- ・当該年度の（公財）日本水泳連盟競技者登録を完了している者

2 選考対象

- ・中国五県対抗水泳競技大会（競泳競技）岡山県予選会 兼 国民スポーツ大会一次予選会または岡山県選手権水泳競技大会（競泳競技） 兼 国民スポーツ大会二次予選会で女子 800m 自由形・男子 1500m 自由形にエントリー（エントリー及び申込金振込）している者の中より選考する。

3 選考基準

- ・2025年4月1日～7月31日までに樹立した、各都道府県水泳連盟（協会）長水路公認・公式競技会の女子 800m 自由形・男子 1500m 自由形の記録で岡山県ランキング男女 1 位の選手を候補選手とする。

4 選考の方法

- ・男女ランキング 1 位の選手を公益財団法人日本水泳連盟 OWS 委員会へ予備エントリーを行う。予備エントリー完了後、公益財団法人日本水泳連盟が本大会出場人数を決定し、公益財団法人日本水泳連盟から各団体へ通知する。
予備エントリー提出時に男子・女子の両方の出場権が得られなかった場合、エントリータイムでの日本ランキング上位の選手を選考する。

5 選考人数

- ・国民スポーツ大会競泳競技実施要項で定められた監督 1 名コーチ 1 名選手 2 名（男女各 1 名以内）計 4 名以内を選考する。
ただし、候補選手が（公財）日本水泳連盟の競技者資格規則に反する行為を行った場合は、NPO 法人岡山県水泳連盟特別委員会（以下、特別委員会）において、その権利を取り消すこととし、候補選手は成績順に繰り上げて選考する。

※総則 5 別記 4 に定めるトップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例処置（前年度日本選手権 10 km男女各 8 名）の対象となる選手については、2 項のどちらかの競技会へ出場意思（希望種目をエントリーおよび申込金振込）を表明することにより、3 項を経ずに優先的に選考することとする。監督は、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ 1、公認水泳コーチ 2、公認水泳コーチ 3、公認水泳コーチ 4、または公認水泳教師、公認水泳上級講師のいずれかの資格を有する者の中から選考する。
また、帯同コーチ 1 名を上記の資格を有する者の中より選考する。

6 予選会免除者

日本スポーツ協会が定めるトップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例処置（前年度日本選手権 10 km男女各 8 名）に該当する者

7 選考基準の周知

選考基準については、NPO 法人岡山県水泳連盟ホームページにて公表する。

なお、自然災害等の不測の事態が生じ、選考期間内に予選会が開催不能となり、選考基準等に変更が生じた場合は、競泳委員会において新たな選考基準等を策定し、特別委員会で承認後、本連盟ホームページを通じて関係者へ通知する。

8 選考結果

新聞紙上において行う。

9 代表選手・監督の決定

NPO 法人岡山県水泳連盟が選考した者の中から、公益財団法人岡山県スポーツ協会会長が、岡山県選手団としての誇りと自覚を持ち、社会的な規範を遵守できる者を代表として決定する。

10 質問対応窓口 競技力向上委員長 森 重樹

11 NPO 法人岡山県水泳連盟「競泳（OWS）委員会」委員構成

委員長 和気利治

副委員長 長光幹太

委員 三宅俊行 野田直裕 藤本策也 松澤順平

12 NPO 法人岡山県水泳連盟「特別委員会」委員構成

会長 溝口 香

副会長 西川良和 長谷川博士

専務理事 片沼裕二

常務理事 森 重樹 杉本和弘 藤原勝馬

第 79 回 国民スポーツ大会（飛込競技）岡山県代表選手・監督・コーチの選考基準について

2025 年 4 月 1 日

NPO 法人岡山県水泳連盟

1 第 79 回 国民スポーツ大会参加資格

「第 79 回 国民スポーツ大会実施要項総則」に定められた、「参加資格」、「岡山県所属となる条件」、「選手の年齢基準」の全てを満たす者

当該年度の（公財）日本水泳連盟競技者登録を行っている者。

2 選考対象

第 79 回 国民スポーツ大会（飛込競技）指定競技会に出場している者の中より選考する。

3 指定競技会

成年の部：①関東選手権・関西選手権

少年の部：①地域高等学校選手権 ②全国 JOC ジュニアオリンピックカップ地域別予選会

4 選考人数

第 79 回 国民スポーツ大会飛込競技実施要項で定められた人数枠内で選考する。

5 選考基準

選手は、前項 3 の指定競技会において以下の標準点を突破（同点可）した者

成年男子（6 演技）	飛板飛込 240 点	高飛込 230 点
成年女子（5 演技）	飛板飛込 175 点	高飛込 175 点
少年男子（5 演技）	飛板飛込 165 点	高飛込 165 点
少年女子（4 演技）	飛板飛込 125 点	高飛込 125 点

監督は、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ 1、公認水泳コーチ 2、公認水泳コーチ 3、公認水泳コーチ 4、または公認水泳教師、公認水泳上級講師のいずれかの資格を有する者の中から選考する。又、選考人数によりコーチを追加選考する。

6 選考の方法

第 79 回 国民スポーツ大会（飛込競技）指定競技会終了後、飛込委員会において（公財）日本スポーツ協会より与えられた人数枠により選出した原案を、NPO 法人岡山県水泳連盟特別委員会が審議を行い、選考基準を満たした選手・監督・コーチの中から総合的に判断し選考する。

7 予選会免除者

(公財)日本スポーツ協会が定める「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例処置」に該当する者

8 選考基準の周知

選考基準については、NPO 法人岡山県水泳連盟ホームページにて公表する。

なお、自然災害等の不測の事態が生じ、指定競技会が開催不能となり、選考基準等に変更が生じた場合は、飛込委員会において新たな選考基準等を策定し、NPO 法人岡山県水泳連盟特別委員会で承認後、本連盟ホームページを通じて関係者へ通知する。

9 選考結果

新聞紙上において行う。

10 代表選手・監督・コーチの決定

選考(案)を飛込委員会が飛込競技実施要項に沿って作成し NPO 法人岡山県水泳連盟特別委員会が選考した者の中から公益財団法人岡山県スポーツ協会が、岡山県選手団としての誇りと自覚を持ち、社会的な規範を遵守できる者を代表として決定する。

11 質問対応窓口 競技力向上委員長 森 重樹

12 NPO 法人岡山県水泳連盟「特別委員会」委員構成

会 長 溝口 香

副会長 西川良和 長谷川博士

専務理事 片沼裕二

常務理事 森 重樹 杉本和弘 藤原勝馬

各種別委員長(競泳、水球、飛込、A S)

※ 選考(案)説明は飛込委員長、飛込理事が行う。

第79回国民スポーツ大会（水球競技）
岡山県代表選手・監督の選考基準について

2025年3月31日
NPO 法人岡山県水泳連盟

1 国民スポーツ大会参加資格

- ・「国民スポーツ大会実施要項総則」に定められた、「参加資格」、「岡山県所属となる条件」、「選手の年齢基準」の全てを満たす者。
- ・当該年度の（公財）日本水泳連盟競技者登録を行っている者。

2 選考対象

- ・第76回中国五県対抗水泳競技大会（水球競技）に出場している者の中より選考する。

3 選考会（第76回中国五県対抗水泳競技大会（水球競技））

期 日：令和7年6月14日（土）・15日（日）

場 所：広島県立広島工業高等学校プール

4 選考人数

国民スポーツ大会水泳競技実施要項（水球競技）で定められた監督1名、選手11名、予備登録4名の人数枠内で選考する。

5 選考基準（項目）

第76回中国五県対抗水泳競技大会（水球競技）の総合評価とする。（戦術理解度・個人スキル）

ただし、選手、監督、コーチが（公財）日本水泳連盟の競技者資格規則に反する行為を行った場合は、NPO 法人岡山県水泳連盟特別委員会（以下、特別委員会）において、その権利を取り消すこととし、候補選手は成績順に繰り上げて選考する。

※総則5別記4に定める「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例処置」の対象となる選手については、3項を経ずに優先的に選考することとする。

※監督は、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ1、公認水泳コーチ2、公認水泳コーチ3、公認水泳コーチ4、または公認水泳教師、公認水泳上級講師のいずれかの資格を有する者の中から選考する。

また、コーチ2名以内を監督が選考する。

6 選考の方法

第76回中国五県対抗水泳競技大会（水球競技）終了後、水球委員会選考委員において速やかに原案を作成し、水球委員会において精査を行い、選考基準を満たした監督・選手・コーチの中から総合的に判断し選考する。

7 選考基準の周知

選考基準については、NPO 法人岡山県水泳連盟ホームページにて公表する。

なお、自然災害等の不測の事態が生じ、選考期間内に予選会が開催不能となり、選考基準等に変更が生じた場合は、水球委員会において新たな選考基準等を策定し、特別委員会で承認後、本連盟ホームページを通じて関係者へ通知する。

8 選考結果

選考結果については、新聞紙上にておこなう。

9 代表選手・監督の決定

NPO 法人岡山県水泳連盟が選考した者の中から公益財団法人岡山県スポーツ協会会長が、岡山県選手団としての誇りと自覚を持ち、社会的な規範を遵守できる者を代表として決定する。

10 質問対応窓口 競技力向上委員長

11 NPO 法人岡山県水泳連盟「水球委員会」選考委員構成

委員長 岡 哲哉

委員 藤原勝馬 松井昌彦 陸田祐一 伊藤晃二

12 NPO 法人岡山県水泳連盟「特別委員会」委員構成

会長・副会長・専務理事・常務理事

※ 選考（案）説明は水球委員会責任者が行う。